

## シラバス情報

授業方法	(講義) ・ 実験 ・ 実習		
系 列	自動車工学		
科 目 名	電装構造		
必修・選択	(必修科目) ・ 選択科目		
対象学科	一級自動車整備科・二級自動車整備科		
年次学期・曜日・時限	1年前期 ・ 火曜日 ・ 1・2時限あるいは3・4時限		
時 限 数	24時限（中間及び期末試験を除く）		
担当教員名	清末 裕貴（副：野尻 裕朗）		
実務経験	(有) ・ 無		
	国土交通省に認証された事業場における保守・点検・分解・組み立てなど自動車整備士としての経験を活かし、整備をする上で必要となる電装品の基礎知識について講義する。		
授業の目的	自動車に装着されている電装品の構造・機能及びそれらの装置の作動について講義する。		
テキスト	①三級自動車ガソリン・エンジン（日本自動車整備振興会連合会 発行） ②三級自動車シャシ（日本自動車整備振興会連合会 発行）		
授 業 計 画			
授業回数	テーマ	内容・方法等	使用テキスト 範囲
第1回	電気装置の概要	電気装置の分類や各装置の概要について解説する。	
第2回	バッテリー 概要・構造・機能	バッテリーの概要や各部品の名称とその役割について解説する。	①P.86～88
第3回	バッテリー 整備	バッテリーに関する整備作業を行う上での手順と注意事項について解説する。	①P.88～92
第4回	始動装置 概要・構造	始動装置の概要や各部品の名称とその役割について解説する。	①P.93～96
第5回	始動装置 機能	始動装置が回転する原理や装置内での電気の流れについて解説する。	①P.96～99
第6回	充電装置 概要・構造	充電装置の概要や各部品の名称とその役割について解説する。	①P.101～103
	中間試験	第6回までの授業内容に関する筆記試験	
第7回	充電装置 機能	充電装置の発電の原理や整流の原理等の機能について解説する。	①P.103～106
第8回	点火装置 概要・構造	点火装置の概要や各部品の名称とその役割について解説する。	①P.108～112
第9回	点火装置 機能	点火装置の各部品の機能や求められる性能について解説する。	①P.108～112

第 10 回	灯火装置 概要・構造・機能	灯火装置の概要や各 부품の構造や機能について解説する。	②P.187～190
第 11 回	灯火装置 ヒューズ・リレー 灯火回路	回路に使用されるヒューズとリレー、各種灯火回路について解説する。	②P.190～195
第 12 回	計器 概要・構造・機能	自動車に使用されている計器の概要や各 부품の名称と役割について解説する。	②P.198～202
	期末試験	第1回～第12回までの授業内容に関する筆記試験	
到達目標	三級自動車の教科書を基とした、各電気装置の構造・機能、回路図の読み取り、計器類の概要、ヒューズやリレーなどのついて修得する。		
成績評価方法	平常点（小テスト、レポートやノートの提出とその評価、出席及び授業態度）、中間試験並びに期末試験を合算して行う。		
定期試験受験資格	開講された全時限に出席し、レポート・ノートの提出が完了している者。 欠席した時限がある場合は、補講も完了している者。		
成績評価基準	<p>成績評価は、期末試験の点数が40点以上を満足した上で、100点を満点とする整数について、次の割合で行う。</p> <p>中間試験の点数 30%</p> <p>期末試験の点数 40%</p> <p>平常点 30%</p> <p>上記の割合によって学期末の評点が60点以上である場合、以下によって評価する。</p> <p>60～69点＝可、70～79点＝良、80～89点＝優、90点以上＝秀</p> <p>60点未満の場合、再試験を行い、試験点のみで60点以上のとき履修を認定し、成績は60点＝可とする。</p>		
成績評価できない場合の基準	全講義を終了時点の出席率が50%を満たしていない場合、又は、成績評価が60点未満の場合。		